

2019年度（令和元年度） 自己評価結果公表シート

自平成31年4月1日～至令和2年3月31日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標に沿った保育を展開するうえで、教師が意図的に設定した環境のもと、園児の主体的な関わりを軸とした保育を実施することで、園児自身が自ら育つことができるように計画し実行していく事を重点目標とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育課程の実施にあたり教職員間の共通理解を図る。	日常から意識できるように心掛け、職員会議等でそれを踏まえながらカリキュラムの設定を行っている。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	幼稚園を取り巻く状況が徐々に変化しつつある中、本園がどのようにそれらの変化に対応し得るか、子どもの育ちを軸として教職員間で検討する。
教育の質の向上のために、経験の長短に関わらず全教職員への指導に取り組む。	幼児の発達段階を意識しつつ、子どもの成長や保育の進め方について意見交換し合う機会を数多く持ち、保育の質向上に役立てる。又、行事ごとに教員リーダーを配置することで責任感を持って職務に従事してもらい、教員の質向上に資する。
保護者との良好な関係性を継続させる。	気になる園児の保護者と早めに、小まめに、個別に懇談の場を設けることで、園内での園児の様子を伝え、保護者の不安を解消したり受け止めたりしていく。園だより等を通じて「共に育ち合う」事を互いに意識する。
危機・安全管理を図る	自然災害発生時の対応について、2次災害への配慮を意識した中で避難訓練や万が一への備えを施していく。又、危機管理委員会主導での情報収集に引き続き取り組んでいく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルスの影響で3月が臨時休園となったのは残念だが、取り組むべき課題について全教職員が共通に理解し、相談し合うことで、教育目標の達成に向けて概ね成果を上げる事ができたと考える。相談する側もされる側も相互に“学び”と捉え両者の質向上につながった。又、新しい総合遊具（プレイランド）を設置したことにより、子どもの運動や精神面における成長が垣間見られたのではないかと感じる。保護者との関係については、大きなトラブルなく良好な関係が持続できている。今後も継続的に、“子どもが真ん中”である事の意識を忘れず、子どもの成長の為に努力を重ねていくことを決意するものである。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	保護者及び市民への情報公開として、引続きホームページ・掲示板等の媒体を活用し、より多くの保護者及び市民に対して情報を発信できるようにする。
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを引続き重ねていくこと。その為には、子どもの主体性を育む環境構成について意見を出し合い、毎日の保育ですぐに実践できるだけの引き出しを数多く持てるようにする。
働きやすい労働環境	働き方改革に伴う労働基準法の改正により、就業規則を見直したが、教職員が長期にわたり勤務できるよう、コミュニケーションをとりながら進めていきたい。
危機・安全管理体制	地震・火災などの災害時を想定した様々な準備（避難訓練、災害備蓄品、マニュアル）などの定期的な確認と必要であればその見直しをする。
園環境の改善	敷地内の危険箇所を見つけ必要であれば改善する。特に経年劣化が疑われる設備については順次入れ替えるなどの対策を図っていく。

6. 学校関係者の評価

総体的に学校運営は良好であると評価する。昨年度は新型コロナウイルスの影響で3月が臨時休園となったので、年度の総仕上げには消化不良の感が否めないが、子ども達の成長ぶりは素晴らしいと感じる。感染への懸念は今後も決して油断できるものではないので引続き緊張感を持って対応にあたって頂きたい。又、園児一人ひとりに向き合う教職員の態度は評価できる。日常的に幼稚園、園児、保護者が「共に育ちあえる」関係性を持って日常の保育を進めていることが分かる。園行事では、行事ごとに楽しい企画を考えてくれて、園児達が飽きることなく保育に集中できている姿を見ることができた。保育発表会では実に立派な子ども達を見ることができて特に感動した。近年は教員採用がかなり厳しい状況にあると聞くが、今後も地域にある幼稚園としてより一層の活躍が期待される。更に、殺伐とした世の中にあって仏教保育を通じた情操教育には期待しているので頑張ってもらいたい。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。